



## 香川のさらなる発展に向けて ～「香川県新世紀基本構想」の総仕上げ～

香川県知事 真鍋 武紀

香川県では、平成十六年度以降の地方交付税の大幅な削減などにより未曾有の危機的財政状況に直面しており、平成十九年十一月に策定した「新たな財政再建方策」に基づき、財政再建に取り組んでいます。こうした中、一昨年初以降の急激な景気後退は、県内の経済や雇用情勢に深刻な影響を及ぼし、とりわけ、雇用失業情勢は厳しさを増しています。

このため、平成二十二年度の予算編成では、「新たな財政再建方策」に即して、歳入・歳出両面にわたる徹底した見直しに取り組み一方で、厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、国の平成二十一年度第二次補正予算に対応した補正予算と一体的にとらえ、当面の景気対策に機動的かつ切れ目のない対応を講じるとい考えの下、経済・雇用対策などに重点化を図りました。

その結果、一般会計当初予算額は、四千三百十二億八千六百万円となり、九年前に前年度を上回る規模となりました。編成に当たっては、施策の選択と集中をより一層徹底し、「地域と経済の活性化策」「安全・安心の確保策」など、香川の将来の発展を支える施策に財源を重点的に配分しました。

### 地域と経済の活性化

本県の強みである金属加工などのものづくり基盤産業や冷凍食品などの食品産業を重点に、技術の高度化や商品開発を支援するとともに、成長が見込まれる航空宇宙分野や健康関連分野などに進出する企業に、試作品開発や技術の提供を行います。さらに、中国上海市周辺地域での県内企業の事

業展開を促進するため、ビジネス情報に精通した現地企業を通して、情報提供や商談先企業の紹介などを行います。

また、厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、中小企業の資金調達の円滑化や緊急雇用創出基金を活用したつなぎの雇用の創出、有資格労働力の確保・育成などに取り組みます。

県産品の振興では、耕作放棄地でのオリーブの生産拡大、高品質で生産性の高い「讃岐夢豚」の開発、新たなブランド魚としてヒゲソリダイの養殖に向けた研究などを行います。

観光・にぎわいづくりでは、七月十九日から、美しい瀬戸内海を舞台に、島々の歴史や文化を生かした現代アートの祭典である「瀬戸内国際芸術祭2010」を開催し、島と現代アートの魅力を県内外はもとより世界に向けて発信していきます。会場となる直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島の七つの島と高松港周辺では、暮らしに溶け込むような素晴らしい作品が次々と生まれ、大いににぎわうことが期待されます。

スポーツの振興では、未来のオリンピック選手を目指したトップアスリートの育成や、野球王国香川の復活に向けた高校野球の強化事業などに取り組めます。

### 安全・安心の確保

南海地震などの大規模な自然災害に備えるため、県有施設の耐震改修を実施するとともに、市町が行う小中学校施設の耐震化事業への助成を行うほか、高潮、津波対策として高松港を始め県内全域で、引き続き

防潮壁などを整備します。

頻発する渇水に備え、ダムやため池などの整備を行い、安定した水資源の確保を図ります。また、水道事業の広域化の調査検討や水資源対策の方向性を示す新たな水資源ビジョンを策定し、渇水に強い県づくりを進めます。

医療の確保では、新たに医師育成キャリア支援プログラムを開始し、医師の確保に努めるとともに、身体合併症のある精神科患者の受け入れ体制を強化するなど、安心して暮らせる香川づくりを進めます。

子育て支援対策では、地域における子育て支援の充実や仕事と生活の両立支援などに重点的に取り組み、安心して子供を生み育てることができる環境づくりを一層推進していきます。

### 教育の推進

全国学力・学習状況調査で明らかになった課題に対応し、確かな学力の定着を図るため、知識を活用する能力や家庭における学習習慣を身に付ける方法などの研究を行います。

また、小学校児童の問題行動の増加に対応するため、防止プログラムを実践するとともに、学校や関係機関が連携した地域ぐるみの支援体制をつくり出します。

平成二十二年度は、「みどり・うるおい・にぎわいの創造」を基本目標とする「香川県新世紀基本構想」の最終年度に当たります。本県の将来にわたっての発展、成長が図られるよう、この基本構想の総仕上げに向けて、取組みを推進してまいります。